目　　次

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果等について

１　全国学力・学習状況調査の結果から・・・・・・・・・・・・・・・１

（１）教科に関する調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（２）定着傾向・課題が見られた問題例・・・・・・・・・・２～６

（３）児童生徒質問紙調査結果概要【肯定的回答の割合】・・　７～９

（４）学力向上・学習状況改善に向けての取組・・・・・・・・・10

２（別紙）　加東市学力向上プロジェクト委員会資料・・・・・11～13

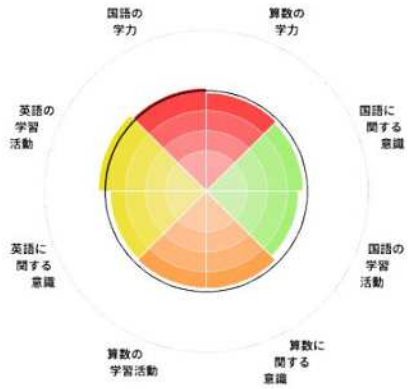
１．全国学力・学習状況調査の結果から

令和８年４月２３日（中学校英語の学力調査は、４月２０日～５月７日までの指定の実施日）に、全国学力・学習状況調査が、６年生と９年生（中学３年生）を対象に実施されました。加東市教育委員会では、子どもたちに「豊かな学び」と「確かな学力」を育むために、調査の結果を分析し今後の教育指導の充実や学習状況の改善を図ります。

（１）教科に関する調査結果（全国平均との比較）

教科	国語		算数	数学	英語
校種	小・中学校・義務教育学校		小学校 義務教育学校	中学校 義務教育学校	中学校 義務教育学校
学習指導要領の領域	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	数と計算	数と式	「聞くこと」 「話すこと」
		情報の扱い方に関する事項	図形	図形	「読むこと」
		我が国の言語文化に関する事項	測定	関数	「書くこと」
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	変化と関係	データの活用	
		書くこと	データの活用		
		読むこと			

小学校



※チャート図の黒実線は、全国平均を表しています。

国語	平均正答率は全国と同程度でした。 「言葉の特徴や使い方」領域に成果が見られました。 「書くこと」領域に関する学習内容に課題が見られました。
算数	平均正答率は全国と同程度でした。 「変化と関係」領域に関する学習内容に課題が見られました。
英語	※英語に関するアンケート調査のみ実施。 「英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい」「ICT 機器を使用して、英語の音声を聴いたり英語を話したりする」に肯定的回答をした児童は、全国と同程度でした。

中学校



※チャート図の黒実線は、全国平均を表しています。

国語	平均正答率は全国と同程度でした。 「情報の扱い方」領域に関する学習内容に課題が見られました。
数学	平均正答率は全国と同程度でした。 「図形」領域に関する学習内容に課題が見られました。
英語	ＩＲＴスコアは全国と同程度でした。 （ＩＲＴとは、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できるもので、全国の平均値は 500） 「聞いたり読んだりしたことを、英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書いたりする活動」に肯定的回答をした生徒の割合が、全国よりも高いです。

※　全国の平均正答率との差が 5 ポイント未満の場合は「全国と同程度」、5 ポイント以上の場合は「全国よりも高い・低い」と表現しています。

※　本調査の結果は、学力の特定の一部分、学校における教育活動の一側面です。

（２）定着傾向・課題が見られた問題例

小学校

【問題番号　加東市児童生徒の正答率（％）】

国語

定着傾向が見られた問題例

◆ひらがなを漢字に書き直す。
（ア）みじかい　（イ）ふしぎ
【２三（ア）85.0％（イ）５３．４％】

・（ア）短い（イ）不思議　はそれぞれ全て漢字に直すことができて正解となります。日々、書き取りをしていることで、定着率が高くなっています。

課題が見られた問題例

◆【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。
【２四　30.5％】

・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するために、引用する目的を明確にし、原文を正確に引用し、自分の考えとの関係を明確に区別して書くことに課題が見られました。

課題が見られた問題（一部抜粋）

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か
「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そでですずしく過ごすことができそうだ。
また、［　　］

5　終わりに
これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏の	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じ

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」ことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1　はじめに
夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2　どうして暑い日に長そでの服を着るのか
「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。
では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3　すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか
「熱中しょうがん境保健マニュアル２０２２」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」、「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。
では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



2　花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【課題の改善に向けて】
情報量が多い文章の中から、自分の考えを伝えるために必要な情報を引用して文章を書く力が求められます。日頃から読書に親しみ、文章を読む機会を増やすとともに、文章を読んで自分の考えを書いたり、伝えたりする習慣を大切にしましょう。

算数

定着傾向が見られた問題例

◆帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何%か、正しいものを選ぶ。
【4(4)　77.8%】

・帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみることができています。

課題が見られた問題例

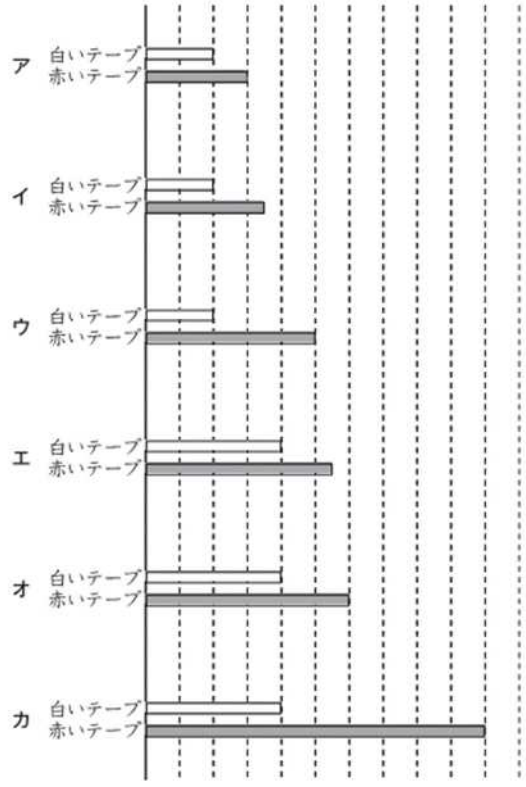
◆赤いテープの長さが、白いテープの長さの１．５倍になっている図を２つ選ぶ。
（完解）
【2(4)　25.2%】

・問題文から基準量、比較量、割合の関係を理解し、それらが正しく表されている図を選ぶことに課題が見られました。

課題が見られた問題（一部抜粋）

(4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの 1.5 倍になっている図はどれですか。

下の ア から カ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



【課題の改善に向けて】

正解はア、オです。イ、エは基準量より１．５目盛り多い数量、ウ、カは基準量と基準量の１．５倍を合わせた量になります。関係図の理解に加え、自分で問題文の図に目盛りを書いて、意味を理解することが大切です。

中学校

【問題番号　加東市児童生徒の正答率（％）】

国語

定着傾向が見られた問題例

◆話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く
【2四　53.7％】

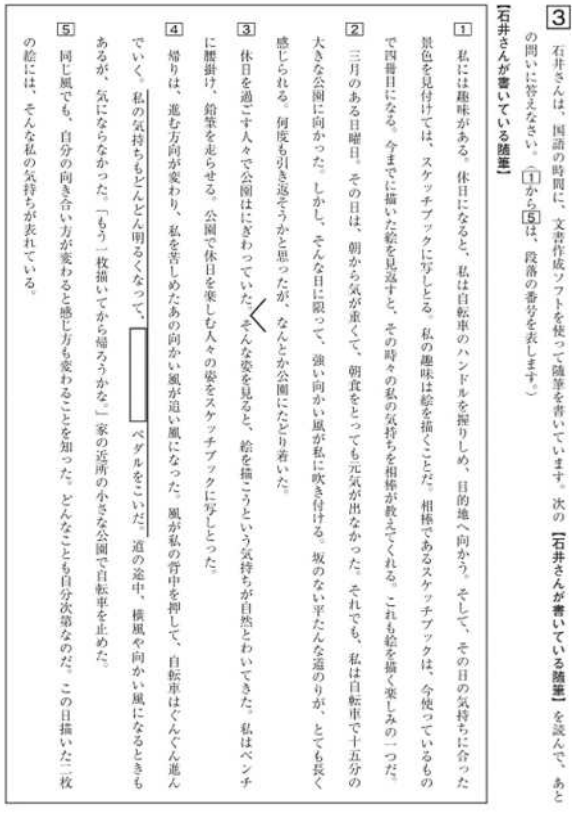
・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができています。

課題が見られた問題例

◆書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く
【3四　39.7％】

・表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえて、よい点や改善点を見出すことに課題が見られました。

課題が見られた問題（一部抜粋）



3　石井さんは、国語の時間に、文書作成ソフトを使って随筆を書いています。次の【石井さんが書いている随筆】を読んで、あとの問いに答えなさい。①から⑤は、段落の番号を表します。

【石井さんが書いている随筆】

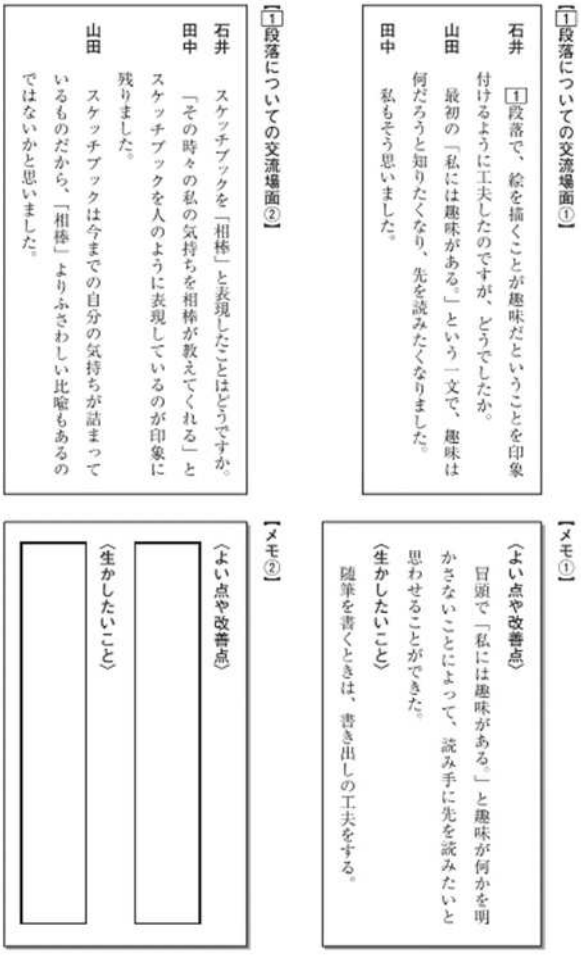
① 私には趣味がある。休日になると、私は自転車のハンドルを握りしめ、目的地へ向かう。そして、その日の気持ちに合った景色を見付けては、スケッチブックに写しとる。私の趣味は絵を描くことだ。相棒であるスケッチブックは、今使っているもので四冊目になる。今までに描いた絵を見返すと、その時々の私の気持ちを相棒が教えてくれる。これも絵を描く楽しみの一つだ。

② 三月のある日曜日、その日は、朝から気が重くて、朝食をとっても元気が出なかった。それでも、私は自転車で十五分の大きな公園に向かった。しかし、そんな日に限って、強い向かい風が私に吹き付ける。坂のない平たんな道のりが、とても長く感じられる。何度も引き返そうかと思ったが、なんとか公園にたどり着いた。

③ 休日を過ごす人々で公園はにぎわっていた。そんな姿を見ると、絵を描こうという気持ちが自然とわいてきた。私はベンチに腰掛け、鉛筆を走らせる。公園で休日を楽しむ人々の姿をスケッチブックに写しとった。

④ 帰りは、進む方向が変わり、私を苦しめたあの向かい風が追い風になった。風が私の背中を押して、自転車はぐんぐん進んでいく。私の気持ちもどんどん明るくなって、［　　］ペダルをこいだ。道の途中、横風や向かい風になるときもあるが、気にならなかった。「もう一枚描いてから帰ろうかな。」家の近所の小さな公園で自転車を止めた。

⑤ 同じ風でも、自分の向き合い方が変わると感じ方も変わることを知った。どんなことも自分次第なのだ。この日描いた一枚の絵には、そんな私の気持ちが表れている。



【①段落についての交流場面①】

石井　①段落で、絵を描くことが趣味だということを印象付けるように工夫したのですが、どうでしたか。

山田　最初の「私には趣味がある。」という一文で、趣味は何だろうと知りたくなり、先を読みたくなりました。

田中　私もそう思いました。

【①段落についての交流場面②】

石井　スケッチブックを「相棒」と表現したことはどうですか。

田中　「その時々の私の気持ちを相棒が教えてくれる」とスケッチブックを人のように表現しているのが印象に残りました。

山田　スケッチブックは今までの自分の気持ちが詰まっているものだから、「相棒」よりふさわしい比喩もあるのではないかと思いました。

【メモ①】

〈よい点や改善点〉
冒頭で「私には趣味がある。」と趣味が何かを明かさないことによって、読み手に先を読みたいと思わせることができた。

〈生かしたいこと〉
随筆を書くときは、書き出しの工夫をする。

【メモ②】

〈よい点や改善点〉

〈生かしたいこと〉

【課題の改善に向けて】

文章を読んで自分の考えを持つことはできていますが、その根拠を示す問いに対して、該当箇所を明確にして結びつけることに課題があります。「どこを根拠に、どのように考えたか」について、自分で書いた文章の見直しをする習慣を大切にしましょう。

数学

定着傾向が見られた問題例

◆反比例の表において、ｘの値が−３のときのｙの値を求める　【４　６９.２%】

・反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができています。

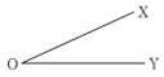
課題が見られた問題例

◆図１（下記参照）において、AB=AP、OB=OP ならば、∠AOB=∠AOP であることを、三角形の合同を基にして証明する。　【８(2)　３６.４%】

・筋道を立てて考え、証明することに課題が見られました。

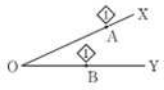
課題が見られた問題（一部抜粋）

8　下の**手順**で、鋭角である∠XOYの２倍の大きさの角が作図できます。

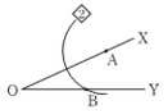


手順

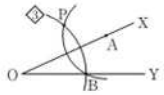
① 辺OX上に適当な点A、辺OY上に適当な点Bをとる。



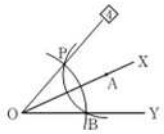
② 点Aを中心として半径ABの円をかく。



③ 点Oを中心として半径OBの円をかき、②の円との交点をPとする。



④ 直線OPをひく。



上の**手順**で作図した∠POBは、∠XOYの２倍の大きさになります。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) **手順**の①の図において、∠AOBの大きさがa°のとき、∠POBの大きさをaを用いて表しなさい。

(2) 前ページの**手順**で作図した∠POBが∠XOYの２倍の大きさであること、つまり∠AOB＝∠AOPであることを証明します。**図１**は、**手順**の④の図の点Aと点B、点Aと点Pを結んだ図です。**図１**において、AB＝AP、OB＝OPは**手順**から直接わかることです。これらを仮定とし、次のことがらを証明します。

図１

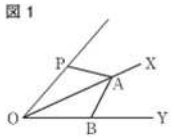


図１において、
AB＝AP、OB＝OP　ならば　∠AOB＝∠AOP　である。

上のことがらが成り立つことは、△AOB≡△AOPを示すことで証明できます。下の**証明**を完成しなさい。

証明

△AOBと△AOPにおいて、

［　　］

合同な図形の対応する角は等しいから、
∠AOB＝∠AOP

【課題の改善に向けて】

作図（中１内容）と図形の合同（中２内容）を関連付けた問題です。問題文の情報を図に書き込み、筋道を立てて証明を書く練習をしましょう。一度で理解できなくても、粘り強く取り組むことが大切です。また、身の回りの具体物を、習った図形（立体）に見立てるなど、学習した内容が、生活とどう結びついているか考えることも、図形の内容を理解する上で、大切な手立てとなります。

英語（中３のみ）

定着傾向が見られた問題例

- 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができています。
- 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができています

課題が見られた問題例

- 要点や概要は捉えられるようになってきています。英文とグラフを関連付けながら読む力に課題があります。
- 自分の考えや提案を英文に変換したりすることに課題があります。

課題が見られた問題（一部抜粋）



【課題の改善に向けて】

英文を書くときに、「何を書けばいいのかわからない」ことや、自分の考えを英語でどう表現するのか分からないことがあるかもしれません。まずは主語、動詞と英文の特徴を捉えて、文を組み立てるようにしましょう。また、新出文法を習った時には、習った文法を使って文を作り、自分のことについて英語で表現する習慣をつけていきましょう。

※今年度、英語は CBT（Computer Based Testing）調査が行われました。紙のテスト（PBT）と異なり、端末画面で問題を表示し、選択・文字入力・音声録音などで回答する方式です。

※IRT 調査（異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できる調査）のため、一部の生徒が解いた問題を掲載しています。

+5.0pt以上
-5.0pt以下

（3）児童生徒質問紙調査結果概要【肯定的回答の割合】（4段階評価の上位2段階）

分類	（質問番号）・質問項目	学校種	R8 加東市（%）	R8全国
生活習慣	（1）朝食を毎日食べていますか。	小6	93.5	92.9
		中3	90.0	90.7
	（2）毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	小6	86.6	81.3
		中3	76.9	79.5
	（3）毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	小6	90.9	90.2
		中3	92.5	92.1
自己有用感	（8）自分には、よいところがあると思いますか。	小6	83.3	84.5
		中3	79.8	82.1
	（9）先生は、あなたの良い所を認めてくれていると思いますか。	小6	89.1	89.0
		中3	87.7	88.2
	（10）将来の夢や目標を持っていますか。	小6	77.9	80.4
		中3	67.2	65.3
規範意識	（11）人が困っているときは、進んで助けていますか。	小6	93.8	91.9
		中3	91.8	89.9
	（12）いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか。	小6	97.8	95.7
		中3	97.0	94.9
	（13）困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	小6	75.0	68.5
		中3	73.5	69.6
	（14）人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	小6	96.4	96.0
		中3	96.6	95.8
学習習慣	（15）学校に行くのは楽しいと思いますか	小6	88.1	84.3
		中3	81.0	84.8
	（22）分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	小6	76.1	76.6
		中3	76.5	74.4
	（23）普段（月～金）、どれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾・家庭教師含む）【1時間以上】	小6	40.9	50.5
		中3	53.3	63.0
家庭生活	（26）学校以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしていますか。【30分以上】	小6	19.9	26.2
		中3	16.9	17.0
	（29）あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。【100冊以上】	小6	18.9	32.8
		中3	25.4	31.6
	（30）新聞を読んでいますか。【月に3回以上】	小6	22.8	21.2
		中3	17.8	15.7
地域・社会への関心や支援	（33）地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	小6	80.1	79.3
		中3	76.2	71.0
ICT活用	（35）5年生まで（中1、中2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【週1回以上】	小6	62.7	87.6
		中3	89.1	90.0
	（36-1）PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。	小6	72.1	76.9
		中3	81.7	81.6
	（36-2）インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。	小6	81.1	83.0
		中3	89.5	88.8
	（36-3）PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。	小6	59.5	65.0
		中3	71.3	62.9
	（36-4）PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。	小6	72.1	73.9
		中3	78.3	77.2

主体的・対話的で深い学び	(39) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	小6	74.3	74.6
		中3	76.9	73.5
	(40) 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	小6	66.0	69.2
		中3	61.9	62.3
	(44) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	小6	80.4	77.6
		中3	82.9	74.5
国語	(53) 国語の勉強は好きですか	小6	72.1	73.9
		中3	78.3	77.2
	(54) 国語の授業の内容はよく分かりますか	小6	85.8	80.2
		中3	79.8	74.3
	(55) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小6	92.4	88.7
		中3	89.6	86.7
	(58)【小】文章などを引用して、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていましたか 【中】互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか	小6	75.7	77.9
		中3	87.7	78.6
	(59)【小】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか 【中】文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか	小6	70.3	74.5
		中3	76.9	68.3
算数・数学	(61) 算数・数学の勉強は好きですか	小6	53.3	56.2
		中3	44.7	53.3
	(62) 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	小6	78.6	76.4
		中3	72.4	72.5
	(63) 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小6	91.0	90.2
		中3	75.3	74.8
	(64) 算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか	小6	83.7	81.0
		中3	61.2	60.0
	(66) 算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	小6	59.4	58.4
		中3	55.6	49.8
英語 ※比較は、前回調査のR5年度	(70) 英語の勉強は好きですか	小6	60.1	65.9
		中3	55.2	51.6
	(71)【中のみ】英語の授業の内容はよく分かりますか	中3	69.4	64.2
	(71)【小】(72)【中】将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	小6	45.7	43.7
		中3	33.6	32.2
	(72)【小】(75)【中】学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	小6	44.2	46.4
		中3	39.9	36.1
	(73)【小】(76)【中】家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	小6	30.4	30.0
		中3	33.6	32.2
	(78)【中のみ】聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	中3	84.3	82.3
	(79)【中のみ】聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	中3	84.7	78.2
	(80)【中のみ】キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	中3	60.1	57.1

児童生徒質問紙より　－　加東市の子どもたちの状況（一部抜粋）　－

加東市の子どもたちの特徴と見られる３項目（過去３年の経年比較）

◆朝食を毎日食べていますか。

	R６	R７	R８
小６	97.3%	96.7%	93.5%
中３	95.9%	93.6%	90.0%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

朝食を食べることは、心身ともに健やかな成長を促すために、大切な習慣です。頭がよく働き、体もよく動きます。逆にエネルギーが足りないと、授業中の集中力が続かなくなったり、イライラしやすくなったりします。楽しい学校生活を送るために、毎朝の食事を大切にしましょう。

◆人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

	R６	R７	R８
小６	97.6%	97.8%	96.4%
中３	97.9%	98.1%	96.6%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

人の役に立ちたいと肯定的に回答する児童生徒は多くいます。自己有用感や規範意識の高まりが、向上心につながります。自分も相手の人権も大切に考えて、より良い社会を目指す一員になるよう、日々の生活に取り組みましょう。

◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

	R６	R７	R８
小６	99.0%	98.9%	97.8%
中３	96.9%	98.5%	97.0%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

学校は、みんなが安心して勉強したり遊んだりできる大切な場所です。日頃から、互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりが大切です。困った時は、友達や大人に相談して、一人で抱え込まないようにしましょう。

（４）学力向上・学習状況改善に向けての取組

学力・学習状況調査結果の活用

〇各学校、学力向上プロジェクト委員会による全国学力・学習状況調査（小６・中３）、総合学力調査（小３～中２）結果の分析、活用を通じた授業改善

家庭学習、自主学習の充実

〇「家庭学習の手引き」の作成、活用
〇放課後学習（ひょうごがんばり学びタイム）
〇漢検・算検チャレンジ（対象：市立小中学校・義務教育学校の小３～中３、小学生は１人年２回、中学生は１人年１回検定料の助成）

教員の指導力向上

〇加東市学力向上研究モデル事業を実施
〇各学校における授業研究、校内研修
〇各種研修会への積極的な参加
〇外部講師の招聘



教員の授業研究

キャリア教育・体験活動の充実

〇かとう夢授業
〇トライやる・ウィーク
〇体験型環境学習
〇芸術鑑賞活動



かとう夢授業

子どもたちに豊かな学びと確かな学力を育みます

外国語教育の充実

〇担任・英語担当教員とＡＬＴとのティームティーチング
〇加東市独自の英語検定「かとう英語ライセンス検定」の実施、「レッスンブック」「はば単」（兵庫県教育委員会作成の英単語集）の活用
〇英検チャレンジ【実用英語技能検定（英検）】（対象：市立中学校・義務教育学校後期課程の生徒、１人年１回検定料の助成）
〇「わくわく英語村」の実施（市立小中学校・義務教育学校）



「わくわく英語村」

授業改善の取組

〇電子黒板やタブレットパソコン等、ＩＣＴ機器の効果的な活用
〇授業における「見通し・振り返り」活動の充実
〇ペア、グループ等による協働学習の推進
（協働学習アプリの活用）
〇言語活動の充実
（話し合い活動や書くことの習慣化を意識した授業づくり）
〇基礎・基本の定着をめざした繰り返し学習
（１人１台パソコン・ドリル学習アプリの活用）
〇小学校から中学校、中学校から小学校への出前授業



出前授業

保護者の皆様へ
上記は、学力向上・学習状況改善に向けた取組の一部です。様々な取組を通して加東市の子どもに「豊かな学び」と「確かな学力」を育んでいきます。
ご家庭では、児童生徒の望ましい生活習慣や学習習慣の定着について、ご協力をよろしくお願いします。

別紙

【学力調査結果の課題分析】経年比較

●課題

国語（小学校）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
社学園小（社地域小）	●資料の内容や語数条件の中で書く力	●目的や意図に応じて情報を取り出す	●目的に応じた読み取り&意味理解	●文章構成の工夫をつかむ力
滝野地域小	●複数の情報を用い、自分の考えを書く力	●目的や意図に応じて伝え合う・書く	●条件を満たす文章を書くこと	●文章の内容や構造を捉えて考える
東条学園	●複数の情報を関連付けて読み取る力	●資料を活用、自分の考えを表現する	●自分の考えを、資料等を引用して書くこと	●複数の条件を満たして文章を書くこと

【学力調査結果の課題分析】経年比較

●課題

算数（小学校）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
社学園小（社地域小）	●数量関係についての理解（関数、割合）	●言葉や式を用いて記述すること	●答えに至る過程を説明する力	●体積の計算 ●割合の立式
滝野地域小	●用語を用いて、図形の性質を説明する	●円柱や球に関する知識（展開図等）	●分数の概念、割合の計算	●2つの数量を比較する ●体積の計算
東条学園	●図形の意味や性質を理解すること	●小数の除法	●小数、分数の概念	●条件の読み取り ●小数の計算

【学力調査結果の課題分析】経年比較

○成果
●課題

国語（中学校）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
社学園中（社中）	●要点を明確にし、文章を推敲する力	●話し合いの発言を踏まえ、考えを書くこと	●相手に伝わりやすい発表をすること	●「何を話せばよいか」を明確にする
滝野中	●条件を満たして書く力	●複数の条件を満たして書くこと	○条件　書く ●言葉の意味、漢字	○条件付きの記述 ○読む力
東条学園	●古典と現代語訳を比較して書く力	●条件にしたがって自分の考えを書くこと	●文章を、根拠を明確にして考える	●自分の言葉で根拠を示しながら説明

【学力調査結果の課題分析】経年比較

○成果
●課題

数学（中学校）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
社学園中（社中）	●記述式問題の無回答率が高い（説明）	●資料の活用や箱ひげ図の知識理解	●文字式の計算（分数の計算等ふくむ）	●三角形の合同の証明 ●用語理解
滝野中	●図形の定義、定理を使って説明する力	●グラフから読み取った情報の考察	●文字式の計算（正負の数等ふくむ）	○反比例 ●資料やグラフの読み取り
東条学園	●図形の性質を証明すること（用語の理解）	●資料の活用の用語、箱ひげ図等の理解	●問題文の意図に合う解答（立式）	●証明の記述 ●平行線と錯角の関係

【学力調査結果の課題分析】令和８年度概要

○成果
●課題

【中学校英語　各校の分析結果から】

○日常的な話題や社会的な話題について、話を聞き要点や概要を捉える力は概ね捉えられるようになってきている。

●聞くこと（実際のコミュニケーションにおいて活用できる力）に課題がある。問題を先に読み、会話のどの部分に注目して聞けばいいか確認し、注意深く聞き取る活動を帯学習で取り入れる。

●英文とグラフと関連付けながら読む能力が低い。回答の根拠まで答える取組を引き続き行い、読み取りの力をさらに伸ばしたい。

●短い英文を基に、自分の考えを書く問題に課題がある。メモなどの与えられた情報から、自分で英文を組み立てていく活動を取り入れる。

【グループ協議】　※第２回学力向上プロジェクト委員会にて

１．ワークシート①　研究推進計画の重点目標をもとに、２学期以降どう取り組むかを考える。
２．ワークシート②　自分の学校種の問題２～３問の分析
　（１）誤答の傾向
　　児童生徒のどの層が、どのように答えられていないのか（予想）
　　（国語例）B層が条件を抜き出す記述式で、本文の見落としがある。
　　（数学例）C・D層が錯角の言葉の意味を理解していない。

　※焦点を絞る
　※どの層にどんな手立てが必要か、子ども達をイメージする

　（２）自校の課題をまとめ、グループ協議を通して解決の手立てを考える。

※A~D層
　四分位範囲で分けた区分
A層：上位層
B層：中上位層
C層：中下位層
D層：下位層

３．教科ごとのグループ協議
　グループ協議（１）学校種別に分析したで課題の共有を行う。
　グループ協議（２）校区別に、課題の解決に向けた手立てを話し合う。
４．各学校での確認
　グループ協議（３）各学校で教科で話した内容を確認し、２学期以降どのように取り組むかを考える。